**研究もしくは在学中に取り組んだこと**

私が所属するゼミは、ICTを駆使した海外学生とのコミュニケーションによる合同研究を実施している。去年はアメリカのニューヨーク市立大学とコラボレーションし、日米のペット病院の相違や改善策などについて研究してきた。コロナで海外になかなか行けない中で、世界各国の大学生と交流できたのは、IT技術の発展が欠かせないと考える。

**自己PR**

私は失敗を成長の原動力にできる前向きな人間だ。高校時代に勇気を出して数百人の前で英語でのスピーチにチャレンジした。夢に出るほど原稿を覚えたが、当日は緊張しすぎて内容を忘れてしまい、30秒ほど舞台の上で突っ立って失意のうちに帰った。しかし、この失敗経験が自分を立て直す力を身に付ける貴重なチャンスでもあると考えた。そのため、失敗した原因を分析した上で、本番を意識しながら目標とするスピーチを真似て話して日々練習し、着実にスピーチ力を鍛えつつ、翌年の再挑戦で優勝を勝ち取った。このように、常に教訓から学び、自分の次なる成長に繋げていくプロセスに大変やりがいを感じた。貴社に入ってからも、逆境や困難を大切にしながら、何事にも前向きな姿勢で粘り強く取り組んでいきたい。

**学生時代に力を注いだこと**

外国人向けの人材紹介会社の電話営業のアルバイトで、参加確約率を5％上げたことである。私は日本で就職したい外国人に対して、就活イベントと自社の面談サービスを紹介し、参加してもらうアルバイトをしている。しかし1日で50件以上電話しているのに参加確約を1件程度しか取れなかった。これを改善するために、以下２つの事に取り組んだ。１つ目は、電話中に相手の反応によって、敬語を簡単な言葉に変えたり、英語の説明を付け加えたりすることを試してみた。２つ目はすぐに売り込みの話を持ち出すのではなく、最初に相手の悩みをヒアリングし、それに当てはまるイベントを案内する順番を取った。すぐに成果が出なかったが、根気よく1ヶ月間続けると少しずつ成果が出始め、その結果、参加確約率を2％から7％に上げることができた。この経験から、相手のニーズを汲み取る傾聴力を身につけたと同時に、前向きな姿勢で粘り強く取り組むことが課題解決につながることを学んだ。

**趣味・特技についてご記入ください。**

色々試行錯誤してオリジナルな料理やお菓子を作ることが好きで、新しい発見に繋がった時に幸せを感じる。このほか、大学の写真部に所属し、月２回程度に撮影会に参加し、学内外の展覧会にも出展している。